令和5年度 產官学連携事業実績一覧

T., T		連携事業実績一覧				
No 1	政策企画課	相手方団体名 おいおいニッセイ同和損害保険株式会社	事業・取組名 「自転車危険VR体験会」の実施	事業・取組の概要 なかひまわりフェスティバルにおいて「自転車危険VR体験会」ブースを設け、来場者に、VRゴーグルを使用して「自転車ながらスマホ」、「T字路走行」、「無灯火運転」に潜む危険性を疑似体験してもらった。	実施年月日 令和5年8月26日	連携による効果 ・参加者にVRで疑似体験してもらうことで、危険行為が事故につながる可能性があることを認識してもらうことができた。 ・参加者に自転車保険のチランを配布し、加入促進を図ることができた。
2	政策企画課	あいおいニッセイ同和損害保険株 式会社	企業版ふるさと納税	那珂市が行う地方創生のプロジェクトのうち、「『農業で稼ぐ』いい那珂プロジェクト」に 対し寄附をいただいた。	令和5年9月	プロジェクトの実施に係る財源の確保につながった。
3	政策企画課	大塚製薬株式会社	健康に関する情報提供(職員向け)	健康維持や健康増進に関する情報について分かりやすくまとめたリーフレットを提供 いただき、職員向け電子掲示板で情報共有した。	随時	職員の健康に対する意識の向上につながった。
4	政策企画課	大塚製薬株式会社	健康に関する情報提供(市民向け)	健康維持や健康増進に関する情報について分かりやすくまとめたリーフレットを提供 いただき、市公式SNSや市役所(本庁舎)1階総合案内付近に設置しているデジタ ルサイネージに掲載し、市民に共有した。	随時	市民の健康に対する意識の向上につながった。
5	政策企画課	明治安田生命保険相互会社	地域みまもり活動パトロール表示の営 業車への掲示	「地域みまもりパトロール中」の表示とナカマロちゃんを印刷したマグネットシートを作成し、営業車に掲示していただいた。	令和5年4月~	パトロールの目があることを広く知らせることで、市内の安心安全を守ることに つながった。
6	政策企画課	茨城キリスト教大学	看護学部地域特定推薦	看護学に深い関心を持ち、成績優秀で地域の保健、医療及び福祉の向上に貢献する志のある者のために設けられた茨城キリスト教大学看護学部の特別入試枠において、市からの志望者の募集及び推薦を行った。(令和5年度那珂市推薦枠:3人)	令和5年10月~11月	市内在住の優秀な学生を推薦することで、将来の地域の保健、医療及び福祉の向上に期待できる。
7	政策企画課	茨城大学	茨城大学学園祭「茨苑祭」での那珂市 ブース設置	茨城大学学園祭「茨苑祭」に出展し、地域物産品の販売を実施した。	令和5年11月11日	学生や学生の保護者、近隣住民などに那珂市の魅力をPRできた。
8	政策企画課	日本大学文理学部	日本大学文理学部学園祭「桜麗祭」で の那珂市ブース設置	日本大学文理学部学園祭「桜麗祭」に出展し、地域物産品の販売を実施した。	令和5年11月3日 令和5年11月4日	学生や学生の保護者、近隣住民などに那珂市の魅力をPRできた。
9	政策企画課	東日本旅客鉄道株式会社	茨城デスティネーションキャンペーンに 係るふるさと納税返礼品の開発	那珂市のふるさと納税返礼品として、水戸農業高等学校の生徒が発案した返礼品を「JRE MALLふるさと納税」で展開した。 【ラインナップ】全4品(各10セット) ①那珂市産お米食ベ比ベセット(5種) ②フェルミエ野菜BOX、ジャム缶、ジャム瓶 ③フェルミエ野菜BOX、若味噌、うどん ④フェルミエ野菜BOX、蕎麦、おかき	令和5年10月1日~12 月31日受付	東京駅・品川駅・横浜駅で商品を展示するなど、今までにない方法で返礼品のPRをすることができた。
10	総務課	あいおいニッセイ同和損害保険株 式会社	カーボンニュートラル入門セミナー	職員の脱炭素普及啓発の研修実施のため、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が提供する地方創生支援メニューを活用し、SDGsコンサルタントの講師を派遣いただいた。	令和5年10月20日	参加職員は、カーボンニュートラル宣言の背景や地方自治体や企業の先行事 例から、取組みの重要性を理解することができた。
11	総務課	茨城大学	茨城大学リカレント教育プログラム	茨城大学リカレント教育プログラムを職員研修として提供し、職員が業務時間中に研修として大学の授業を受講できる取り組みとして実施している。年2回(前期・後期)募集し、希望のあった職員を派遣している。	令和5年4月1日~令和 6年3月31日	茨城大学の持つ学術的な知識・財産を、働きながら再学習ができる場として 活用するとともに、学生・他企業参加者と交流することで、行政運営に携わる 職員の能力向上を目的とした研修実施の取り組みを図ることができた。
12	防災課	大塚製薬株式会社	那珂市防災訓練への参加者向けの物 資・資料の提供	市が実施する防災訓練において、物資及び資料の提供をいただいた。 - ポカリスエット300ml 240本 - 熱中症対策パンフレット	令和5年7月23日	物資(飲料)及び資料を参加した市民に提供することにより、市民の熱中症対策に寄与すると同時に、災害時における水分補給の大切さを学んだ。
13	市民協働課	茨城大学	学生によるまちづくり活動参加促進事業(協まち・カフェ)への参加協力	各地区のまちづくり委員会が主催するイベントとあわせ市が出展したブースにおいて、準備や片付け、アンケート用紙の配布、飲み物の提供の補助をお願いした。	令和5年11月5日 令和5年11月19日 令和5年11月26日	まちづくりに興味がある学生に市内で活動する多様な団体がまちづくりに取り組んでいることを知ってもらい、市や地域活動に対する理解を深めることができた。
14	社会福祉課	株式会社水戸京成百貨店	障がい者就労支援事業所 京成百貨 店物品販売会	障がい者就労支援事業所が製造する物品等(食料品、工芸品)を販売するにあたり、販売会場を提供とSNS等でのPRをしていただいた。	令和5年6月28日 令和5年10月24日	・歩行者や水戸京成百貨店来訪客へのPRにつながった。 ・就労支援事業所の売り上げの増加と障がい者の工賃向上の一助となった。 ・障がい者の社会参加の機会となった。
15	介護長寿課	SOMPOひまわり生命保険株式会 社	「認知症サポーター・ステップアップ講 座」の開催と認知症に係るパンフレット の設置	市が主催する認知症サポーター・ステップアップ講座において、認知症本人の体験ができる映像の提供と放映と、グループワークでの書配をやっていただいた。参加者へ、認知症に係るパンフレットやVRキットの配布をしていただいた。 また、認知症に係るパンフレットについて、随時窓口等に設置をした。	令和5年6月20日 令和5年10月14日	・映像で見ることで、認知症に対する理解がより深まる講座となった。 ・認知症に係るパンフレット等の配布により、認知症について触れる機会の創出に繋がった。
16	こども課	常磐短期大学、茨城女子短期大学、茨城キリスト教大学	保育施設を見に行こうツアー	保育施設を巡り、保育士を目指す学生に本市の保育施設を知ってもらうとともに、各 施設の特色や子どもたちの雰囲気、職場環境など、保育職の魅力を体感し就職につ なげる。	令和5年8月22日 令和5年8月24日 令和5年8月29日 令和5年9月7日	・複数の施設を回ることにより、施設の特徴など比較することができ、今後の 就職活動の参考とすることができたとの感想があった。 ・施設においても、人材が不足しており保育士を目指す学生に対し、PRすることができた。 ・従事する保育士や子どもたちの雰囲気を直接感じることで、学生に市内保育 施設を知ってもらうことができた。
17	こども課 (菅谷保育所)	株式会社フットボールクラブ水戸 ホーリーホック	水戸ホーリーホックアカデミーコーチに よるスポーツ体験教室	水戸ホーリーホックアカデミーコーチによるサッカーボールを使った指導を通じ、体を動かすことの楽しさや仲間とのコミュニケーションの大切さを体験する。	令和5年11月16日	サッカーに興味を持ち、取り組む子どもの姿が見られた。
18	健康推進課	明治安田生命保険相互会社	寄付金の受入れ	従業員による募金活動で集めた714,000円を寄付いただいた。	令和5年11月	女性がん検診の受診奨励に係る事業に充当し、受診奨励のために活用した。
19	商工観光課	常磐大学	イベント交流事業(八重桜まつり)	八重桜まつりにおいて、学生が、前年度企画したキャンドルライトアップの設置や桜 の花びらを使ったワークショップの運営を行う。 また、翌年度の八重桜まつりに向けて、市職員や協力隊による講演(授業)をもと に、イベントの企画薬を作成する。	令和5年4月23日(八重 桜まつり) 令和5年10月30日(ゼ ミ) 令和5年12月11日(ゼ ミ) 令和6年1月22日(ゼミ)	・参加学生に、那珂市のことを知ってもらうことができた。 ・学生を通して、イベント告知の拡大をすることができた。
20	商工観光課	SOMPOひまわり生命保険株式会 社	なかひまわりフェスティバルへの出展	なかひまわりフェスティバルへの団体ブース出展	令和5年8月26日	なかひまわりフェスティバルを盛り上げることに寄与した。
21	商工観光課 政策企画課 農政課	東日本旅客鉄道株式会社	茨城デスティネーションキャンペーン関連イベントの開催	JRグループ6社と地域が一体となって観光客誘致のために取り組む「茨城デスティネーションキャンペーン」の一環で、「特別企画・地域イベント」として次のイベントを実施した。 ・那珂市駅からサイクリング ・ハーフセンチュリーいばらき ・しい。那珂かぼちゃフェア ・静峰ふるさと公園イルミネーション ・静峰ふるさと公園「静峰ナイトシネマ」 ・茨城県植物園「ハーブクリスマスマルシェ」		各イベントによって市内を盛り上げる効果を得た。
22	生涯学習課	大塚製薬株式会社	家庭教育学級の実施	家庭における子どもの教育の在り方について、正しい理解をもつために、各保幼小中で家庭教育学級を開設し、学習の機会とする。 「熱中症予防濃塵」(瓜連中)、「発達段階における栄養素」(横堀小、額田小、第二中※オンライン)という学習課題で講習会を実施した。	令和5年7月1日(瓜連中) 令和5年10月30日(横堀小、額田小、第二中)	・日本の夏が年々暑さを増していることから、熱中症対策は急務となっており、中学生は部活動中の熱中症が半数以上となっている現状から、保護者として正しい知識を身につける学習機会となった。(瓜連中)・・部活動で運動量が増える中学生期に必要な栄養素について学ぶことができた。また。また、親食がなぜ必要なのかを学ぶ機会となり、家庭実践のきっかけになった。(二中)・・・バランスの良い食事や3食の食事の大切さを改めて学ぶことができた。(額田小)・食事メニューの紹介や、正しい水分補給の行い方など、今の生活にすぐに取り入れられる内容で、非常に有意義な学習機会となった。(横堀小)
23	生涯学習課	茨城女子短期大学	「家庭の日」図画・作文の審査	市内小中学生が応募した作品の審査を行う。 図画の部は、(小学生) 各学年から金・銀・銅賞各1点(中学生) 全学年から金・銀・銅賞各1点を選定する。作文の部は、(小学生) 各学年から金・銀・銅賞各1点(中学生) 全学年から金・銀・銅賞各1点を選定する。 (主権団体 青少年育成那珂市民会議)	令和5年10月中旬~11 月中旬(作品審査) 令和5年12月9日(発表 会及び表彰式典)	市内小中学校から図画・作文を募集し、多数の応募をいただいた。作品を通して、より良い家庭づくりと人間づくり運動の推進と普及を図ることができた。
24	生涯学習課 (スポーツ推進 室)	株式会社フットボールクラブ水戸 ホーリーホック	水戸ホーリーホックホームゲーム「那 珂市の日」	水戸ホーリーホックホームゲームにて、「那珂市の日」として市のPR活動を行った。 具体的には、市特産品プレゼント抽選会、市PRブースの設置(市観光協会グッズ販売、シティプロモーション推進室によるガラボン抽選会等)、市内飲食店による出店、市内在住者特別優待を行った。また、キックオフ開始前にはナカマロちゃん同席の上、市長が挨拶を行った。	令和5年8月12日	・那珂市が水戸ホーリーホックのホームタウンであることを改めて周知し、サポーターから身近に感じてもらうことができた。 ・市PR大使となっている選手がPRプースにてパンフレットの配布を行い、プースへの集客向上に繋がった。
25		株式会社茨城ロボッツ・スポーツ エンターテイメント	茨城ロボッツ「那珂市の日」	茨城ロボッツゲームにて、「那珂市の日」として市のPR活動を行った。具体的には、 LINEクイズによる市特産品プレゼント、市PRブースの設置(市観光協会ゲッズ販売)、各種パンフレットの配布、市内在住者特別優待を行った。また、ティップ・オフ前にはナカマロちゃん同席の上、市長が挨拶を行った。	①令和5年4月19日 ②令和6年2月7日	那珂市が茨城ロボッツのマザータウンであることを改めて市内外に周知し、 ブースターから身近に感じてもらうことができた。
26	生涯学習課 (図書館)	常磐短期大学	読み聞かせ研修会	図書館や市内で活動する読み聞かせボランティア及びこれから読み聞かせをやって みたいという方を対象とした、知識や技術のスキルアップを目的とした研修会実施した。	令和6年2月25日	読み聞かせについての知識、技術の向上が図られた。
27	生涯学習課(図書館)	茨城女子短期大学	「こども図書館まつり」におけるワーク ショップの実施	こどもの読書週間に合わせて実施した「こども図書館まつり」において、こども向け ワークショップを開催していただいた。	令和5年4月30日	こども図書館まつりに多くのかたが来館し、図書館のPRにつながった。
28	生涯学習課(図書館)	茨城女子短期大学	「図書館まつり」におけるワークショップ の実施	誘書週間に合わせて実施した「図書館まつり」において、こども向けワークショップを 開催していただいた。	令和5年10月29日	図書館まつりに多くのかたが来館し、図書館のPRにつながった。
29	全庁	茨城大学、常磐大学、茨城キリスト教大学、学校法人大成学園、筑 波銀行、株式会社JTB	各種委員等への教員・社員派遣	市の組織する各種委員会等の諮問機関に、教員や社員を派遣いただいた。	随時	専門的な知見から様々な意見をいただき、よりよい市政運営につながった。